

令和5年度学校評価表

教育目標					
「自主自律」「文武両道」の精神のもと、文化や社会の担い手として、全人的教養とともに、理性的判断力、豊かな創造力をそなえた人間を育てる。					
中・長期的な重点目標			今年度の重点目標		
知徳	社会性の育成	人権尊重の上に豊かな人間関係を築く力の育成	1 生徒指導の充実 ・自主自律精神の養成 ・いじめ・体罰のない学校づくり(人権尊重意識の向上)	2 学習指導の充実 ・学力の向上 ・進路希望の実現	
	学力の向上	学力向上への強い意志と態度の育成			
判断力の向上	広く深い見地から判断する力の向上	3 特別活動の充実 ・クラブ活動の充実 ・生徒会活動の充実			
兼ねつつ					
たくましく	自律性の確立	主体的、かつ責任ある行動をとる力の育成	4 開かれた学校づくり ・情報の発信 ・地域連携の強化		
	実行力の育成	互いに協力し、困難に立ち向かう力の育成			
	創造力の育成	未来に向けて社会の創造と発展に貢献する力の育成			
領域	目標	内容及び評価項目・観点		評価および課題（関係分掌等）	※評点
生徒指導	自主自律精神の養成	1	TPOをわきまえた服装・態度がとれるよう、生徒の自主的な取り組みを促し、支援する。	(生徒指導、生徒会、進路指導)	
		2	面談週間や日々の生徒との会話の中で相互理解を深め、生徒自ら意見を発信、受信できる環境を授業やHRで整える。		
	人権尊重意識の向上	3	いじめ・体罰等のない安心、安全な学校を作る。	(生徒指導、特別支援、保健厚生、人権・図書・視聴覚)	
		4	あいさつの励行をはかり、豊かな人間関係と互いの人格を尊重しあう人権意識を育成する。		
		5	支援を必要とする生徒へのサポート体制を充実させる。		
学習指導	学力の向上	6	校内外に向けて積極的に授業を公開し、職員が相互に研鑽して授業改善に努める。	(学習指導、各教科)	
		7	タブレット端末を活用することで、協働学習や課題解決型学習等の要素をより一層授業に取り入れ、生徒の学習意欲の喚起に努める。		
		8	教科間の連携をとりながらタスクテスト、課題を充実させ、家庭学習習慣の定着をはかる。		
	進路希望の実現	9	個人面談を重視し、必要な進路情報を生徒・保護者に提供して進路意識を高め、第一志望の実現をはかる。	(進路指導)	
		10	高大連携の具体的な取組であるアカデミックチャレンジの推進等を通じて、生徒の興味関心、意欲を喚起し、幅広い進路実現につなげる。		
		11	学年会、職員会を通じ、進路情報や課題を職員間で共有する。		
特別活動	クラブ活動の充実	12	生徒が活動計画をたて、実践するなど、クラブ活動を通じて自主自律の精神が育成できるよう支援する。	(生徒会)	
		13	メリハリのあるクラブ活動を通じて文武両道を実現し、協力して物事を達成できる喜びと感動を体験させる。		
	生徒会活動の充実	14	生徒が活動計画をたて、実践するなど、生徒会活動を通じて自主自律の精神が育成できるよう支援する。	(生徒会、PTA、同窓会)	
		15	弥生祭などの行事を通じて、地域の方々や保護者との連携をはかり、協力して物事を達成できる喜びと感動を体験させる。		
	開かれた学校づくり	情報の発信	16	学校HPや弥生NEWS、学年通信などを充実させ、学校の様子や生徒の活動を広く伝える。	(教務、情報ネットワーク)
17			オクレンジャーを活用して、学校情報を保護者に伝える。		
地域連携の強化		18	中学校の高校視察受け入れや中学校での説明会を積極的に行い、地元中学校との連携をはかって本校の特色を広く伝える。	(教務、学習指導、PTA、同窓会)	
		19	授業や行事など様々な場面で地域の専門家や保護者等との連携を強化する。		